

進路だより

令和5年度 1学期
栃木県立聾学校 進路指導部
令和5年7月20日発行

1学期に進路指導部で行った主な行事を紹介します。

特別支援連携協議会 5/23(火)

午前中は、福祉事業所関係の16名の方が参加し、「コミュニケーション支援について」というテーマで協議しました。午後は、企業や行政関係の29名の方が参加し、「関係機関との連携について」というテーマで協議し、各機関の役割について、ハローワーク・宇都宮圏域障害者就業・生活支援センター・栃木障害者職業センターから御説明を受け、それぞれの役割を再確認することができました。その後の協議会は2グループに分かれて実施し、職場における関係機関との関わりの事例や課題などについて、活発な意見交換を行うことができました。



中学部 進路の時間 6/6(火)

第一回目の進路の時間では、高等部の先生から、高等部の各学科(普通科・情報機械科・生活技術科)について学習内容や進路先など、写真を交えながら詳しく説明がありました。生徒たちは、メモを取りながら真剣に話を聞いていました。自分の将来を見据えながら、高等部への理解を深めることができました。



高等部 職場見学(A,B組) 6/14(水)



株式会社アローテックスへ行きました。企業の名前の由来やどのような製品を作っているかなどの説明を聞いた後、卒業生との質疑応答がありました。最後に工場内を見学し、実際の現場の様子や職場環境について知ることができました。

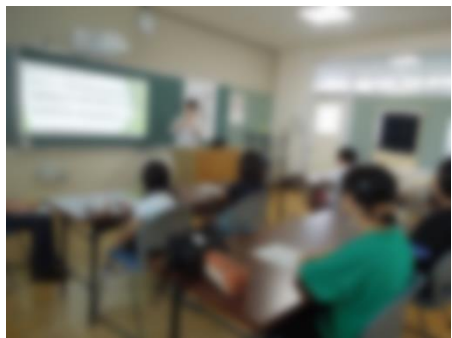
職場見学を通して、卒業後の進路や将来の職業生活について、生徒一人一人が考えを深めることができました。

小学部 進路の時間(2,3年1組) 6/26(月)

「仕事って何だろう」や「家族の人の仕事は何？」などの問いかけをきっかけにして、「どんな仕事があるのか」「どんな仕事をしてみたいか」など、将来の仕事の希望、そのために必要なことや今自分が頑張っていることなどを話題にして話し合いました。それぞれの夢や頑張っていることがよく分かりました。



小学部 進路の時間（4, 5, 6年1組）6／28（水）



SUBARU で働いている本校卒業生に来ていただき、仕事に関する話を聞きました。学校時代の話や仕事についての話を聞いた後、児童それぞれが考えてきた質問をしました。「いつ、やりたい仕事を決めましたか」「聞こえる人の同僚はできましたか」などの質問に丁寧に答えていただき、とても貴重で充実した機会になりました。特に、女子児童にはあこがれの存在になったようでした。

中学部 職場見学（A組）6／22（木）

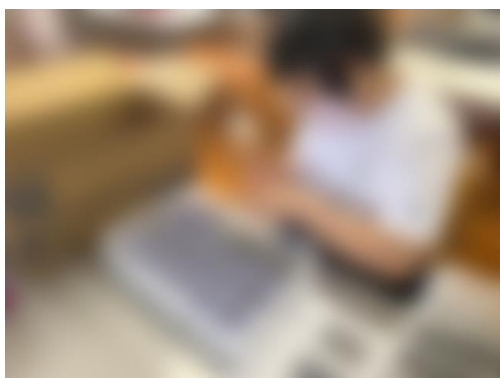
さくら市氏家にある渡辺歯科医院スペシャルニーズセンターを見学しました。

歯科医院内では、実際に処置や手術を行っている部屋を見学し、仕事や治療の内容について丁寧に説明をいただきました。また、生徒の質問にもそれぞれ丁寧に答えていただき、生徒は熱心にメモを取っていました。

今回の職場見学をとおして、様々な仕事があることや、将来に向けて努力することの大切さ、働くことの責任などについて深く考えることができました。



高等部 産業現場等における実習及び校内実習（C組）6／12（月）～23（金）



高等部では、「働く力」を身に付けたり、卒業後にどのような仕事をしたいかイメージをもちやすくしたりするために、福祉作業所での実習を行っています。今回は2年生が、居住地の2箇所の福祉作業所にて1週間ずつ実習を行いました。「丁寧に作業すること」と「自分から依頼、報告すること」を目標として、実習先では、事業所内の清掃やカプセルトイの組立作業などに取り組みました。



また、1年生は校内実習にて紙すき作業とエコバック作りを行いました。牛乳パック切り、パックのラミネートはがし、はがした紙のちぎり、ミキサーがけと紙すき、そして新聞紙を使ったエコバックの取っ手作りと、作業の全行程を一人で取り組みました。

2学期には1年生も校外での実習を経験します。身に付けた力を校外で発揮できる実習を丁寧に積み重ねていきたいと思います。